



福岡県マスコットキャラクター エコトン

再生可能エネルギーの普及に向けた 県の取組み状況について

平成25年8月20日
第4回福岡県地域エネルギー政策研究会



福岡県企画・地域振興部総合政策課
エネルギー政策室

本日の内容

1. 福岡県における再生可能エネルギーの導入状況
2. 再生可能エネルギーの普及に向けた福岡県の取組み
 - (1) 多様なエネルギーの確保(再生可能エネルギーの導入)
 - (2) エネルギー産業の支援・育成

1. 福岡県における 再生可能エネルギーの導入状況

1. 住宅用太陽光発電の導入状況

《住宅用太陽光発電の累積導入量（平成6年度～平成24年度）》

- 導入件数 全国第3位（61,159件） ※前年度から12,512件増加
- 導入設備容量 全国第3位（248,415kW） ※前年度から58,932kW増加

導入件数(平成6年度～平成24年度)

順位	都道府県名	導入件数(件)
1	愛知県	86,589
2	埼玉県	66,972
3	福岡県	61,159
4	東京都	60,491
5	静岡県	56,825

導入設備容量(平成6年度～平成24年度)

順位	都道府県名	導入設備容量(kW)
1	愛知県	352,454
2	埼玉県	253,545
3	福岡県	248,415
4	静岡県	236,125
5	東京都	219,659

※県が一般社団法人太陽光発電協会データ等を基に集計

2. メガソーラーの動向

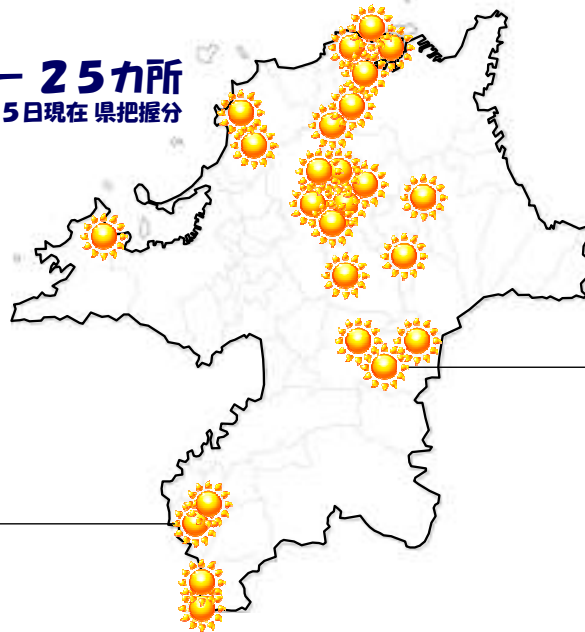
固定価格買取制度の施行により、メガソーラーの導入が急速に進んでいます。

稼働済みのメガソーラー 25カ所

※平成25年8月15日現在 県把握分

22,898kW

みやま合同発電所
(芝浦グループ)
稼働：2013年3月



1,000kW

大分自動車道
山田SA (下り線)
(西日本高速道路株)
稼働：2012年11月



固定買取価格制度の認定状況 (平成25年2月現在, 経済産業省発表)

メガソーラー認定件数 105カ所 (全国3位)

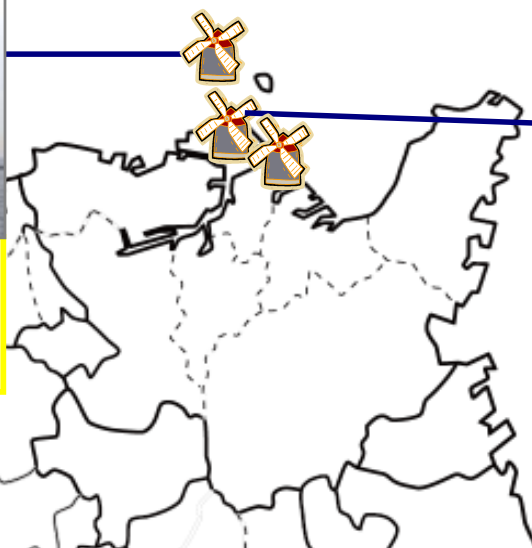
メガソーラー認定出力 290,303kW (全国8位)

3. 風力発電の状況

北九州市響灘沖合 (沖合1.4km) において、
洋上風力発電 (着床式) の実証研究が開始。

2,000kW

洋上風力発電 実証研究
(NEDO・電源開発)
稼働：2013年6月



15,000kW
(1,500kW×10)



<代表例>

響灘風力発電所
(エヌエスウインドパワーひびき)
稼働：2003年3月

※県が市町村アンケート等を基に独自に集計

4. その他の再生可能エネルギー発電設備の状況

県内各地でバイオマス発電・水力発電の導入が進んでいる

○水力発電 17カ所

(平成24年度末現在 県把握分)

○バイオマス発電 19カ所

(平成24年度末現在 県把握分)

1,600kW

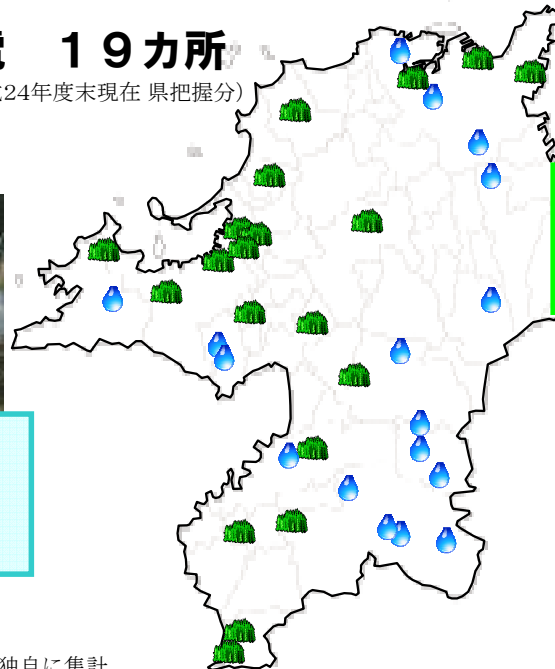


<代表例>

【水力発電】

南畑発電所

稼働：1911年10月



29,200kW

<代表例>



【バイオマス】
福岡市 クリーンパーク・東部
稼働：2005年7月

20,600kW

<代表例>



【バイオマス】
大牟田リサイクル発電所
稼働：2002年12月

※県が市町村アンケート等を基に独自に集計

5. 福岡県における再生可能エネルギー発電設備の累積導入量

再生可能エネルギー発電の種類		平成22年度末の 累積導入量 (kW)	平成23年度末の 累積導入量 (kW)
太陽光発電	(住宅用)	140,289.6	189,487.4
	(非住宅用)	16,310.8	17,514.4
風力発電		17,290.3	17,313.4
水力発電		20,985.0	20,985.0
地熱発電		0.0	0.0
バイオマス発電(ごみ発電を含む) ※設備容量にバイオマス比率を乗じて算出		104,755.0	104,755.0
合計		299,630.6	350,055.1

※県における推計値(市町村アンケート等を基に独自に推計)

平成24年度末時点の累積導入量は推計中
(43万kWを超える見込み)

平成23年度に
約5万kW増加!

6. 県内の再生可能エネルギー発電設備による年間発電量

県内の再生可能エネルギー累積導入容量(平成23年度末)から推計される年間発電量は約9億kWhで、約25万世帯分の年間電力消費量に相当

※ 県内の電力販売量(322億kWh)の2.8%に相当

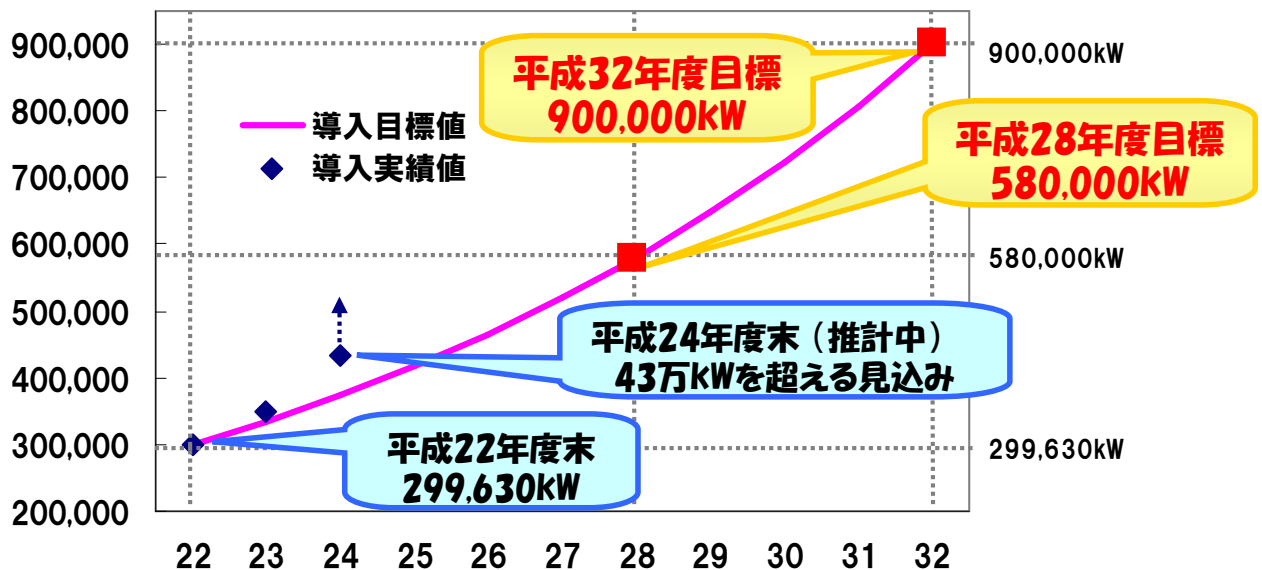
福岡県内の再生可能エネルギー発電設備による年間発電量(平成23年度末推計値)

再生可能エネルギー発電の種類		平成23年度末の 累積導入量(kW)	設備利用率 (平均的な数値)	年間発電量
太陽光発電	(住宅用)	189,487.4	12%	199.2百万kWh
	(非住宅用)	17,514.4	12%	18.4百万kWh
風力発電		17,313.4	20%	30.3百万kWh
水力発電		20,985.0	60%	110.3百万kWh
地熱発電		0.0		0.0百万kWh
バイオマス発電(ごみ発電を含む) ※設備容量にバイオマス比率を乗じて算出		104,755.0	59.7%	547.9百万kWh
合計		350,055.1		906.1百万kWh

資料) 県における推計値(市町村アンケート等を基に独自に推計)

7. 福岡県の再生可能エネルギー導入目標

	基点	目標値	
再生可能エネルギー 導入容量(設備容量)	299,630kW (H22年度末)	580,000kW (H28年度末)	900,000kW (H32年度)



※県が市町村アンケート等を基に独自に集計
※平成28年度目標は、県総合計画の目標値

2. 再生可能エネルギーの普及 に向けた福岡県の取組み

(1) 多様なエネルギーの確保(再生可能エネルギーの導入)

(平成25年度予算額: 842百万円)

○ 県有施設等における再生可能エネルギーの率先導入

- 福岡女子大、春日(仮称)警察署への太陽光発電設備の設置

○ 地域の特色を活かしたエネルギーの地産地消モデルの構築促進

- 再生可能エネルギー発電設備導入促進事業(市町村補助)
- 再生可能エネルギー県民シンポジウムの開催

○ 民間事業者等への再生可能エネルギーの導入支援

- 再生可能エネルギー導入支援システム
- 「県有地の貸付」「県有施設の屋根貸し」による太陽光発電の普及促進

○ 防災拠点・避難所への再生可能エネルギーの導入支援

- 再生可能エネルギー等導入推進基金事業(グリーンニューディール基金事業)

8. 再生可能エネルギーの導入（率先導入）

県における再生可能エネルギー率先導入事例 <平成24年度までの導入実績>

- 県管理ダム3カ所に小水力発電（計14,050kW）を設置



大淵発電所 7,500kW
(八女市)



木屋発電所 6,000kW
(八女市)



ちくし発電所 550kW
(那珂川町)

- 県有施設17カ所に太陽光発電（計401kW）・風力発電（計3kW）を設置

※平成24年度には、新たに太陽光発電170kW（9カ所）を導入

平成25年度は、太陽光発電211kW（11カ所）の設置を予定

※設置予定箇所：福岡女子大，春日(仮称)警察署，県立学校3校，道の駅6カ所

9. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

再生可能エネルギー発電設備導入促進事業

市町村による再生可能エネルギー発電設備導入(地産地消モデル構築)への支援

1. 目的

地域資源を活用して行う優れた再生可能エネルギーの導入を加速度的に促進するため、市町村が主体又は関与して行う可能性調査(FS調査)及び設備導入を支援する。

2. 補助対象となる再生可能エネルギー

太陽光発電，風力発電，バイオマス発電，水力発電，地熱発電，潮流発電，波力発電，海洋温度差発電

3. 補助の概要

- (1) 導入可能性調査 ※再生可能エネルギーの率先導入，又は市町村内への普及促進を図るための調査等
 - ア 事業主体 市町村(一部事務組合を含む)
 - イ 補助金の額 500万円以内(定額)
- (2) 設備導入
 - ア 事業主体 市町村(一部事務組合を含む)，市町村と民間事業者等の協働
 - イ 補助金の額 1億円以内(補助率1/2以内)

9. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

再生可能エネルギー発電設備導入促進事業 <導入可能性調査事業>

平成24年度

H24 導入可能性調査事業の概要	採択市町村名
再生可能エネルギー全般の導入可能性調査	八女市、豊前市、嘉麻市、みやま市、福智町
太陽光発電の導入	小郡市、朝倉市、遠賀町、広川町
太陽光発電・小型風力発電の導入	岡垣町
小水力発電の導入	朝倉市、糸島市、みやこ町
下水汚泥消化ガスを用いたバイオマス発電の導入	宗像市
木質バイオマス発電の導入	嘉麻市

平成25年度

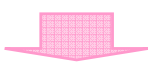
H25 導入可能性調査事業の概要	採択市町村名
再生可能エネルギー全般の可能性調査	久留米市、筑前町
小水力発電の導入	糸島市
太陽光発電・蓄電池等の導入	糸田町、香春町
生ごみ・汚泥系メタンガスを用いたバイオマス発電の導入	みやま市
下水汚泥消化ガスを用いたバイオマス発電の導入	芦屋町
木質バイオマス発電の導入	八女市

9. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

再生可能エネルギー発電設備導入促進事業の事業例

<導入可能性調査(豊前市)>

- 豊前市における太陽光発電・小水力発電・バイオマス発電の導入可能性を調査
- 小水力発電の候補地として、90年前に小水力発電が行われていた岩岳川上流部の産家(さんげ)地区における小水力発電の事業化可能性調査(基礎調査)を実施 →事業化可能性あり



- 埋もれていた地域の資源を再発見！
- 豊前市と地域住民が協働して、産家地区における小水力発電の事業可能性を検討中

●山前を繞るように残る導水路
●岩岳川上流部、手前右にタービンと発電機があったという
—1909年12月撮影、豊前市史から

90年前の水力発電再び

「90年前、福岡県豊前市の産家地区に、水車発電所が建設された。当時の水車発電所は、岩岳川上流部の産家地区にあった。小水力発電所を、産家地区に建設する計画は、市史などにも記載されている。市史などにも記載されている。市史などにも記載されている。市史などにも記載されている。」

豊前 住民と市、事業化めざす

「産家地区は、山前を繞る導水路が残り、水車発電所が建設された。当時の水車発電所は、岩岳川上流部の産家地区にあった。小水力発電所を、産家地区に建設する計画は、市史などにも記載されている。市史などにも記載されている。市史などにも記載されている。市史などにも記載されている。」

【引用】朝日新聞(平成25年6月1日夕刊)

9. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

再生可能エネルギー発電設備導入促進事業 <設備導入補助事業>

平成24年度

H24 設備導入補助事業の概要	採択市町村名
公共施設（避難所等）への太陽光発電設備の導入	福岡市、久留米市(2件)
浄水場への小水力発電設備の導入（H24～H25）	福岡市

平成25年度 ※2次公募を実施中（8月2日～8月22日）

H25 設備導入補助事業の概要	採択市町村名
白糸の滝における小水力発電設備導入事業	糸島市
まいピア高田における太陽光発電設備導入事業 ※電気自動車用充電スタンド（V2H）も併設	みやま市
三連水車の里あさくら太陽光発電設備導入事業 ※電気自動車用充電スタンドを併設 ※来客が多い施設であり啓発活動を重点的に実施	朝倉市

9. 再生可能エネルギーの導入（市町村補助）

再生可能エネルギー発電設備導入促進事業の事業例

<設備導入補助事業(久留米市)>

事業名：田主丸地域保健センター等複合施設における太陽光発電設備導入事業

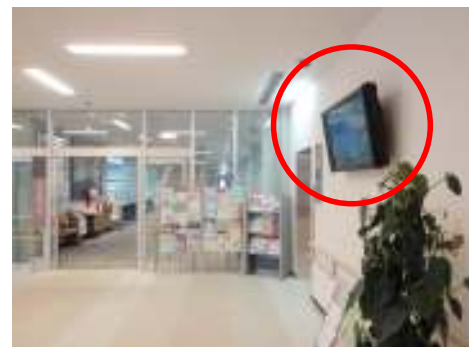
備考：自家発電と連系させることにより、防災対応に資するようにしている。

また、啓発用モニターを設置し、市民への普及啓発も行っている。



太陽光発電システム（10kW）

啓発用モニター



10. 再生可能エネルギーの導入（導入支援システム）

全国初「再生可能エネルギー導入支援システム」の構築

再生可能エネルギーの導入検討に必要な日照時間や風況など適地に関する情報をワンストップで提供する全国初のシステムをインターネットで公開（<http://www.f-energy.jp>）



ポイント1 詳細なデータを提供

- 日照時間や風況など再エネ導入に役立つ情報を250mメッシュ単位で確認できます

ポイント2 マップから簡単検索

- 地図の拡大・縮小、スクロールも簡単
- 鮮明な航空写真の表示も可能

ポイント3 希望条件から簡単検索

- 希望条件を入力するだけで、簡単に適地を検索

平成25年度は海洋データ(波高など)の追加等を予定

11. 再生可能エネルギーの導入（土地貸し・屋根貸し）

「県有地の貸付け」及び「県有施設の屋根貸し」による太陽光発電の普及促進

- 民間活力を活用した再生可能エネルギーの普及を促進するため、未利用の県有財産を、公募により太陽光発電事業を予定している民間事業者に貸付け
- 自治体施設の屋根を民間事業者に貸し出すことにより、太陽光発電設備の導入を促進する手法の導入は、九州では初めての取組み

《県有地の貸付け》

用地名	所在地	貸付面積	優先交渉事業者	貸付価格
田川畜産センター	田川市	104,248㎡	九州メガソーラー(株)	150円/㎡/年
白石工業団地	京都郡苅田町	35,958㎡	JGA国際エナジー(株)	270円/㎡/年

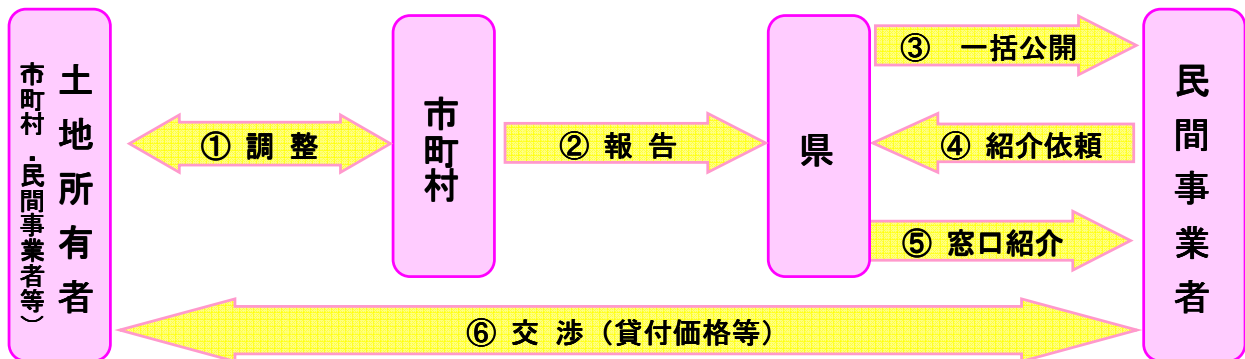
《県有施設の屋根貸し》

施設名	所在地	貸付面積	優先交渉事業者	貸付価格
太宰府特別支援学校	太宰府市	970㎡	福岡日信電子(株)	150円/㎡/年
小竹高等技術専門学校	鞍手郡小竹町	1,108㎡	(株)ライジングコーポレーション	146円/㎡/年
久留米高等技術専門学校	久留米市	1,788㎡	(株)栄住産業	400円/㎡/年

12. 再生可能エネルギーの導入（メガソーラー候補地の公開）

メガソーラー事業候補地（誘致希望地）の公開

○市町村がメガソーラーの誘致を希望する用地（市町村有地、民有地）を取りまとめ、県ホームページ（ふくおかのエネルギー）で一括して公開 ※公開中の事業候補地：3箇所（民有地3）、平成25年8月15日現在



《メガソーラーの誘致が決定した用地》 ※平成25年8月15日現在

用地名	所在地	面積	売却・貸付先
金山インダストリーパーク A区画	糸田町	29,975㎡	京セラ(株)
吉井浄化センター北側用地	うきは市	13,037㎡	米城ビルディング(株)
大木坑木所有適地	豊前市	11,000㎡	(株)多摩川九州
みやこ町彦徳	みやこ町	51,287㎡	芝浦グループホールディングス(株)

13. 再生可能エネルギーの導入（グリーンニューディール基金事業）

再生可能エネルギー等導入推進基金事業（グリーンニューディール基金事業）

○地震や台風等による大規模な災害に備え、避難所や防災拠点等への再生可能エネルギー等の導入を支援し、「災害に強く低炭素な地域づくり」を推進する

○環境省補助金（19億円）を基金として積み立て、3ヶ年で事業を実施（9月議会で補正予定）

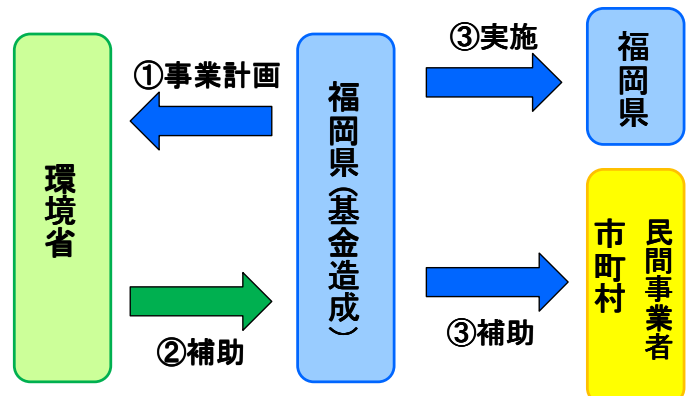
【事業概要】

- ①事業計画の策定、実績の調査及び評価
- ②公共施設における再生可能エネルギー等導入事業(補助率:10/10, 2/3)
- ③民間施設における再生可能エネルギー等導入促進事業(補助率:1/3)

【事業期間】

平成25年度～平成27年度

事業スキーム



- 再生可能エネルギー先端技術展2013
- 水素エネルギー戦略事業
- 再生可能エネルギー発電事業等の創出に向けた総合相談窓口の開設

14. エネルギー産業の支援・育成（先端技術展）

再生可能エネルギー先端技術展2012の開催

- 再生可能エネルギー等に関連する先進的製品・技術を一堂に紹介
- 産学官における技術・人材・情報の交流を活発化
- 技術革新およびビジネスチャンスの拡大に寄与

入場無料



会期	2012年11月14日(水)～11月16日(金)
会場	西日本総合展示場 新館 (福岡県北九州市小倉北区浅野3丁目8-1)
主催	福岡県, 北九州市, 経済産業省九州経済産業局, (公財)西日本産業貿易コンベンション協会
出展者数	75社・団体
入場者数	12,404名

※本技術展は、「水素エネルギー先端技術展」を改組して開催する展示会です。



平成25年度開催予定

- 会 期: 平成25年10月16日～18日 10:00～17:00
- 会 場: 西日本総合展示場 本館
- 展示規模: 150小間/3000㎡ 基礎小間(3m×3m×2.7m)
- H P: <http://www.he-t.jp>

15. まとめ

福岡県では、
県内各地域の特性を活かした再生可能エネルギーの導入と
効率的なエネルギー利用を進め、
環境にやさしく持続的発展が可能な社会を目指します。

皆様の御理解と御協力をよろしく申し上げます。

<問い合わせ先>

福岡県 企画・地域振興部 総合政策課 エネルギー政策室

TEL 092-643-3148 FAX 092-643-3160

E-mail energy@pref.fukuoka.lg.jp

URL <http://www.f-energy.jp/> (ふくおかのエネルギー)

